

平成27年度第2回島根県公立大学法人評価委員会 議事要旨

1. 日時

平成27年8月10日（月） 13:30～15:30

2. 場所

島根県庁講堂

3. 出席者

(委員)

服部委員長、宮脇委員、三島委員、服部京子委員、渋川委員

(公立大学法人島根県立大学)

浅井財務課長、錦織主任、榎野主任、錦織主任、植田主事

(事務局)

山崎総務課長、三島調整監、井上学事GL、加納企画員、向田主任

4. 会議次第

(1) 公立大学法人島根県立大学の平成26年度業務実績の評価について

(2) 公立大学法人島根県立大学の平成26年度財務諸表について

(3) 公立大学法人島根県立大学の平成26年度剰余金について

5. 会議の概要

(1) 公立大学法人島根県立大学の平成26年度業務実績の評価について

- ・事務局から、資料により評価結果（案）についての説明があった。
- ・前回評価委員会の意見を踏まえて作成された評価案についての意見はなく、評価結果が確定した。

(2) 公立大学法人島根県立大学の平成26年度財務諸表について

- ・事務局から、資料により公立大学法人島根県立大学が作成した平成26年度財務諸表の概要について説明があり、併せて、財務諸表に係る知事承認の方針に基づき、平成26年度財務諸表を承認したい旨の説明がされた。

- ・以下の質疑があり、平成26年度財務諸表承認については、「意見なし」とされた。

<質疑等概要>

- ・積立金の取り崩し額は妥当か。

→教育研究の質の向上等に充当するという計画のもと、取り崩していった結果、今回の取り崩している。

- ・県民からの税金で運営されている大学であることから、積立金の取り崩し額及使用

- 途については、厳格に管理し、後からチェック機能が働くようにしてもらいたい。
- ・積立金の使用にあたっては、学生の教育の更なる向上につながるよう十分留意してもらいたい。

・行政サービス実施コストが昨年度に比べて6.9%減になっているが、主な要因は何か。
→前年度は出雲キャンパスの「しまね看護交流センター」や松江キャンパスの「しまね地域共生センター」開設のための改修工事やその他大規模な修繕工事等で一時的に増えていた費用が通常年度と同じような状態に戻ったため。

- ・学生へのサービスが低下しないように運営願いたい。

(3) 公立大学法人島根県立大学の平成26年度剰余金について

- ・事務局から、資料により公立大学法人島根県立大学の平成26年度に生じた未処分利益（剰余金）55,707千円の処分に関して、法人の中期計画に係る目的積立金として利益処分することを承認したい旨の説明があった。

- ・以下の質疑があり、平成26年度剰余金の承認については、「意見なし」とされた。

<質疑等概要>

- ・剰余金の承認基準にある大学の標準収入はどのように設定するか。

→定員等を基に入学検定料、入学料、授業料、学生寮の使用料などの収入を算出して、県が設定している。